

# 新しい年を迎え 躍進をめざします

全日本遊技事業協同組合連合会  
理事長 原田 實



## お客様の笑顔に会えるありがたさ

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には益々ご健勝で輝かしい平成24年の新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げますとともに、平素からのご指導、ご支援に対しまして、謹んで厚く御礼申し上げます。

さて、去年は、東日本大震災により、東北地方を中心に多くの方が犠牲になられました。被災された方々は、長年住み慣れた家を失い、職を失い、また家族を失った方も多く、それまでの生活とは一変されています。また、関東地方でも交通機関の麻痺、電力不足に伴う計画停電の実施等、今まで体験したことのない事態に遭遇しました。

ホール業界としても、震災後の電力不足を受け、東北・東京両電力管内では、初めての輪番休業、また、環境への配慮という観点以外からの節電、ネオンを消したままでの営業等、未だかつてない取組を経験いたしました。

当たり前であったものが、当たり前でなくなることの恐ろしさ、またありがたさを再認識された方も多と思います。生活であれ、仕事であれ、環境であれ、私たちは、社会により守られながら生きておりますが、平穏な生活の中でそのことを実感する機会はなかなかありません。

私たちの業界にも、様々な変化が訪れており、今まで当たり前であったこと、慣行化していたことをもう一度見直すべき時を迎えていると思います。

ここ数年微増傾向にあった遊技人口も、昨年に入り多少ですが減少いたしました。私たちが求められているのは、気軽に、楽しく、安心して遊べる環境をファンの方々に提供することです。もう一度、お客様の笑顔に接することができることのアリガタさを再認識し、業を営んでいかなければなりません。

今を転換期ととらえるなら、来たるべき業界新時代に向け、業界全体で力を合わせ、今まで手つかずになっていた問題を再度見直し、一つ一つ着実に取り組んでいけば、未来は必ずや明るいものとなると確信いたします。

一般社団法人遊技産業健全化推進機構  
代表理事 河上 和雄



## 業界の体質強化のために不正排除

遊技産業健全化推進機構が発足して早くも6年目を迎えることになりました。

私どもの活動の目的は遊技業界からの不正排除であります。不正が存在しては社会の信頼を得られず、長期的な発展にも繋がりません。主たる業務である検査活動を行った店舗数は、組織発足以来これまでに約1万3000店に上り、全国のホールを一周以上したことになります。

しかしながら不正が根絶したとは言いがたい状況であることを、残念ながら指摘しておかなければなりません。遊技機検査の結果、まだまだ不正改造が発見されております。新たに開始した計数機検査でも、マイナス誤差が表示される「計測異常」が発見されております。メンテナンスに問題があると見られることから、機器の清掃などをきちんと実施して頂きたいという願いを再三させて頂いております。

当機構と致しましてはこれからも不正や業界の社会的信用の失墜につながるような事案については排除していく所存であります。これを一歩ずつ進めていくことが、私どもの責務であり、それが結果として業界の体質強化に結びついていくと考えております。

さてわが国の経済情勢ですが、円高の進行や産業空洞化による景気下降のリスクがあり、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然残っているようです。財政赤字は拡大しており、年金問題などと合わせ大きな社会不安となっております。多くの方々が被災された東日本大震災の影響も重くのし掛かっております。

また、福島原発事故に起因する電力不足の問題もあり、ホールを取り巻く環境が様々に変化しております。

いろいろ厳しい面を指摘致しましたが、「娯楽の王様」として大衆に親しまれてきた遊技業界の基盤は堅牢なものがあると思っております。決して現状を打破出来ないことはないと思っております。当機構も業界健全化の立場から、努力を続け、皆様と共に歩んでまいりたいと思っております。よろしくお願い致します。

# 躍進をめざします

日本電動式遊技機工業協同組合  
理事長 里見 治



## 好調な販売状況、更に業界活性化へ

日本遊技関連事業協会及び加盟の皆様 明けましておめでとうございます。

東日本大震災や福島第一原発の事故という未曾有の大災害、西日本を中心とした台風による被害等、まさに災害の一年と言っても過言ではない年でございました。大震災や原発事故によって、多くの方々が仮設住宅や避難先での生活を余儀なくされ、未だに不自由な日々を送っておられます。被災された方々に対しまして、改めてお見舞いを申し上げます。

大震災による電力不足により、遊技業界は「こんな時にホールが煌々と明かりを点けて営業している」等のバッシングも浴びせられ、一部の方々が持たれている業界に対するネガティブな印象の強さを改めて感じました。このような動向に対しては謙虚に向きあうと同時に、誤った情報を基にした批判に対しては正しく理解頂く様に促さないといけない、との必要性を痛感し、組合としても行動に移して参りました。皆様方におかれましても業界全体で危機感を共有し、輪番店休等の節電対策の徹底等取り組まれたことは、その意味でも非常に大きな意義があったと認識しております。

震災の影響によりパチスロメーカーは当初部材等の確保に苦慮致しましたが、幸いにも早期に解消することができ、お蔭様を持ちまして現時点では昨年を上回る販売状況にございます。

これは皆様方の日頃のご尽力の賜物であると同時に、パチンコ・パチスロホールがストレス解消やコミュニケーションの場として地域コミュニティーの一部として機能していることの証明であり、日本の大衆娯楽として大きな社会的役割を担われているものと改めて実感したところです。

日本は現在、被災地への復興対策、TPP参加の是非、社会保障と税の一体改革等の難題が山積する厳しい状況にあります。このような激動の新年を迎え、業界は今まで以上に一致団結し大衆娯楽産業の活性化を図っていく必要があるものと認識しており、日電協としても積極的に取り組んで参ります。

日本遊技機工業組合  
理事長 市原 高明



## あるべき姿へ多様性のある遊技機

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ますますご健勝で輝かしい新年の幕開けを迎えられましたことを心からお慶び申し上げますとともに、平素のご指導ご支援に対しまして、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

震災の影響は遊技市場の落ち込みに少なからず追い打ちをかけることとなりましたが、ここ数年の疲弊した状況の中で、まず、健全化を推進し本来あるべき「身近で手軽な大衆娯楽」として幅広い層に受け入れられる魅力ある遊技機を市場に提供して社会的な役割を重視し国民の理解を得ることが重要であると考えています。

こうした中、昨年ばちんご営業における広告・宣伝や遊技機の表示等の演出に関して行政から指導を受けたことは、業界に対する信頼を失墜させ結果的にファンの減少にも繋がりがねません。風當法についての理解、コンプライアンスに向けた姿勢が問われており、健全に存続していく上で基本的なことでもありますので、業界に関わる一人一人が理解を深め原点に立ち返る必要があると思います。

この様な大変厳しい環境だからこそ、今まで以上に、遊技業界としてあるべき姿、方向性を見誤ることなく行動しなければなりません。国民の目線に立ちニーズを的確にとらえ、安全で安心できる遊技環境づくりは急務となっております。その一つとして遊パチの普及を引き続き進めていますが、まだまだ十分とは言えずファンの拡大には繋がっていません。より多様性のある遊技機の実現に向けて技術的検討を重ねており、幅広いファンに受け入れられる遊技機づくりに手を緩める事なく、今後も推進していかなければならないと考えています。

あわせて、環境対策につきましては、震災をきっかけとして遊技機の一層の節電対策が求められています。引き続き照明のLED化、その他低消費電力部品の採用などを進めておりますが、さらに待機時の照明や液晶の明るさなどの節電も進め、その節減目標値として概ね20%を掲げ、省エネへの取り組みを推進しています。

回胴式遊技機商業協同組合  
理事長 伊豆 正則



## 強固な節を作るため今年こそ「創」

新年明けましておめでとうございます。

近年、我々ばちんこ・パチスロ業界では、団体や関係企業が、設立50周年、60周年を迎えた話を聞くようになりました。また、昨年は、東日本大震災に伴う電力問題で、世間から厳しい批判を浴びたり、広告・宣伝問題などで行政当局からの指導が相次いだことから明らかなように、業界は、いま、大きな節目を迎えています。これから先の50年を支えるためには、ここ数年の間に、業界の更なる健全化に向けて、竹にたとえていえば、強固な節を作らなければならない時期にあることを痛感しています。

それと同時に、先人たちや諸先輩方が、様々な時代の変化を乗り越え、長年にわたって築いてこられた日本の「ばちんこ・パチスロ文化」を、国民の大衆娯楽として定着させ、さらに信頼を得て存続させるためにも、時代の変化に適応して行くことが強く求められています。常々申し上げておりますとおり、変化の先には希望があることを忘れてはなりません。希望があれば、何事にも立ち向かって行ける「勇気」が湧いてきます。

私はここ数年、一年のキーワードを一文字に託して年頭所感とさせていただいておりますが、平成24年に当たっては、「創」の一文字で表現したいと思います。

先ほども述べましたとおり、業界のこれから先の50年を支えるためには、更なる健全化に向けた強固な節を作る必要があります。そのためには、今年こそ新たなビジョン「創」と、その実現のための第一歩を踏み出さなければなりません。

これから先、我々ばちんこ・パチスロ業界を、ひとつの産業として日本経済の柱とするためには、これまでの慣習や固定観念にとらわれることなく、今こそ本気で、業界各団体間の利害を越えたところでの「遊技産業戦略会議」の組織化に取り組むべき時期が、もう目の前に迫って来ているのではないかと強く感じております。

全国遊技機商業協同組合連合会  
会長 中村 昌勇



## 実務作業のレベルアップと効率化

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、益々ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

昨年は未曾有の東日本大震災という歴史的な自然災害に始まって、更に原発事故による人災も加わり、日本経済にとっては大変厳しい年でした。欧米の金融財政危機に端を発した経済危機は、政治危機、社会不安へと拡がり、その影響が日常生活までにも及んでおります。我が遊技業界も例外ではありません。

しかし、大衆娯楽として、世の中の多様化の流れにも耐え抜いてきたパチンコ産業には、何としても元気を取り戻して、活気あふれる"大衆娯楽の担い手"としてこれからも歩み続けることが求められています。

私ども全商協は、販売業者登録制度や、中古機流通制度など次々と新しいシステムに対する適応を迫られる中で、組織として実務処理能力のレベルアップを求められるようになり、運営上の作業が大幅に増えてまいりました。実務作業の効率化を図ることが急務であると考え、全商協の運営に各種実務面の強化を図っていく方針を打ち出しました。

その中で、遊技業界団体の中では初の試みとして「テレビ会議システム」を昨秋に導入し、全国8か所の各地区遊商と全商協事務局を結ぶネットワークを構築。迅速な"情報の共有化"を実現しました。

また、今年で12年目を迎える中古機流通制度でございますが、私ども全商協は、「繋げよう! 安心、安全、信頼の輪」をスローガンに、更なる健全化・適正化に向けた取組みを行っております。不正防止対策、適正な流通への取組みはもとより、この制度の原点である「取扱主任者の点検確認作業の確実な実施」を徹底させるべく、取扱主任者ひとりひとりの点検確認技術の向上や顔認証システムによる作業実績記録の導入を推進し、安心してご使用いただける遊技機の提供に努めてまいりますので、本年も皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

# 躍進をめざします

遊技場自動補給装置工業組合  
理事長 梁川 誠市



## 厳しい局面と言えど活性化に全力

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には益々ご健勝で輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度の我が国は、東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われ、業界関係者をはじめ、全国の様々な方々による救済、支援活動が続いておりますが、被災地域の皆様方には、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また後半には、タイにおいて大規模な洪水が発生し、部品供給面などアジア諸国に深刻な被害を及ぼし、我々業界も少なからず影響を受けました。被害は長期化の様相を呈し、引き続き予断は許されません。国内では増税問題など、不安定な政治経済の状況が続き、東日本大震災の影響などにより、依然として厳しい景気動向にあるなかで、史上最高値を更新した急激な円高や、デフレの深刻化、雇用情勢の悪化も懸念され、欧州の金融不安など、海外景気の動向によっては本年も混迷な情勢が予測されます。

我々業界全体を取り巻く環境も同様に、市場規模の下落傾向には歯止めが掛からず、特に若年層のパチンコ・パチスロ離れなど、閉塞感の強まる深刻な事態に置かれております。

設備機器メーカー団体である私ども補給組合においても、パチンコ球補給設備の施工件数については、過去に例を見ない厳しい局面に立たされております。

本年も先行き不透明感は否めませんが、大衆娯楽であるパチンコ・パチスロ遊技市場を再び活性化させるためには、業界全体の地道な努力と協力によって、幅広いファンの期待に応えていき、この混迷な時代を乗り越えていくべきであると切に願います。

我々も業界の裏方の要であるが故、刻々と変化する時代のニーズにお答えできるよう、組合員の地道な努力と、相互間の協力により、陰ながら努力していく所存でございますので、本年もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしく願い申し上げます。

遊技場自動サービス機工業会  
理事長 木原 一雄



## 特許事業の発展。貯玉運用にも協力

皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災という歴史的な大事件を経験した年でありました。また、東日本大震災発生後、部材供給の途絶により遊技機の製造が一時期できなくなったことや、電力需要の逼迫によりホールが輪番休業制を導入することになった記憶に残る年でもありました。

一方で、4月に警察庁から発表された店舗減少率に鈍化傾向が見られたことや、年の後半にかけてパチスロ機人気が復活したなど、数少ないながら明るい好ましい話題もありましたが、周辺機器市場は平成17年度以降一貫して縮小トレンドに陥っており、販売契機となるホールの新規出店の鈍化も常態化するなか回復の糸口は見えておりません。

しかし、好調なパチスロ機に付随する台間メダル貸機市場は、前年比倍増の大幅回復となり、各台計数機の普及も、ここ最近急速に進みホール全体の2割を超える導入率となっています。

本年、弊会では、周辺機器の立場でご協力させていただけることがあれば勿論のことですが、不正防止のために知恵を絞ること、周辺機器の特許取扱事業を発展させること、貯玉システムメーカーが加盟いただいている団体として貯玉補償制度適正運用に引き続き協力させていただくことをテーマに活動していく所存であります。

本年の日本経済は前半再び成長率を高めると見られるものの、厳しい所得環境を背景に消費が伸び悩む可能性が極めて高いと思われることから、会員一同気を引き締めて臨みたいと考えております。

最後に、皆様からの一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新しい年を迎え

一般社団法人日本遊技産業経営者同友会  
代表理事 松田 高志



## 業界の未来左右する私達が先頭に

2012年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

昨年は、東日本大震災により国内が想像を絶する衝撃と悲しみに包まれた年であり、また我々ばちんこ業界にとっても誠に大変な1年でありました。改めて、震災の被害に遭われた皆様へお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い復興を心より願っております。

未曾有の大災害の後、我々同友会は、「頑張ろう東日本! 応援しよう西日本!」のスローガンのもと、物資支援や義援金、夏季の電力使用削減、5月から22週にわたり会員企業より315名が参加した被災地へのボランティア派遣等、様々な支援活動を積極的に行っていました。この活動におきましては、支援の輪をより広げ、今後とも継続的に行っていく所存であります。

一方、昨年は電力需給の逼迫による「業界パッシング」により業界が危機に立たされた1年でもありました。我々はより一層、国民の皆様のさまざまなご意見に対して謙虚に耳を傾け、ばちんこをしない人、広い国民の目線に立った営業に取り組まなければなりません。ばちんこが国民の真の大衆娯楽として、明日への活力を与え日本を元気に出来る産業であり続けるため、5年後、10年後のアクションプラン作成実行に向けた始動の年がまさに2012年であります。業界全体が共通の危機意識を持ち、一致団結して、力強い一歩を踏み出して行きましょう。

ばちんこ業界と国民の皆様との唯一の接点は、ばちんこホールであります。ばちんこホールの在り方こそが、これからの業界の未来を大きく左右する事になります。我々はより良いばちんこホール作りのため、消費税増税問題やお客様を増やすための分煙取り組み等の喫緊の課題解決に向け、当会内での議論活性化を図るとともに、他団体との結束をより一層図っていく所存であります。

今年も皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様にとって本年が良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

遊技場メダル自動補給装置工業会  
理事長 大泉 政治



## パチスロに人気、さらに機種開発へ

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年は、100年に一度と言われる未曾有の大震災、原発事故、大型台風の襲来による河川の氾濫と洪水、崖崩れなどの人的被害を含めまさに「天変地異」を思わせる自然災害が発生した年でありました。加えて、災害による経済活動の停滞と、長期にわたり低迷する日本経済の不振というダブルパンチに見舞われ、国民生活が大打撃を受けました。このような中で、我が遊技業界も災害被災者の心情に立って営業自粛、義援金、ボランティア等で対応して参りましたが、改めて、甚大な被害を受けられた多くの皆様へ、心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っている者でございます。

今年の「レジャー白書」によると、遊技産業の市場規模が20兆円割れをきたしたと言われております。もちろん国民生活の変化、レジャーの多様化等様々な要因があり、遊技産業が縮小されてきたわけですが、昨今、東北の被災地近郊では、飲食店、遊技場が大賑わいで、特に「パチンコ店」は、早朝から行列が出来るほどといわれております。被災し、厳しい環境の中、ひとときの楽しみと心の安らぎを求めてパチンコに来店して下さるものと思われ、これぞまさに手軽に安く遊べる「遊パチ」の理念に合致するもので、国民的大衆娯楽であるパチンコ・スロットの地位は揺るぎないものです。

庶民の心をパチンコ・スロットに繋ぎ止めておくためには何が必要か、まずは、遊んで楽しいと思われる機種の設置、心休まる空間にあると思います。そのためには、ファンのニーズに応える機種開発が不可欠であります。昨年からのスロットART機の人気が高まっていますが、これもゲーム性と期待感が高いことにあるのではないかと思います。ホールが楽しい場であれば、必ずファンは戻ってくると思っています。

私どもは、周辺機器を提供する団体ではありますが、皆さんと共に業界の健全な発展のために最善の努力をして参りたいと思っています。

# 躍進をめざします

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会  
代表理事 加藤 英則



## 正しい認知と信頼のため手を携え

新たな年を迎えるにあたり、旧年3月11日の東日本大震災に於いて多くの尊い命を無念にもなくされた方々へ、改めて深い弔意を心から申し上げますと共に、甚大な被害を受けられた方々の力強い復興へのご努力に心から敬意を表し、平成24年の新たな年が皆様方にとって、より輝かしい年になりますことを心からお祈り申し上げます。

旧年中は、貴協会の深谷友尋会長はじめ会員の皆様より弊協会活動に多大なるご支援、ご指導を賜りましたこと、厚く感謝申し上げます。昨年は、我々業界はもとより日本全国、更に全世界にとって多くの災難に見舞われた年でしたが、このわが国の国難に対して貴協会が人、物、義援金等、業界の先頭に立って支援活動をどこよりも早く、積極的にそして継続して行われましたことは、業界の誇りと存じます。

また我々業界に「ホール5団体風営法検討会」をスタートさせ、業界のリーダーとしての役割、責任を存分に発揮されたことに大きな敬意を表します。新しい年こそ更なるご尽力をいただき、業界の掲げる多くの課題に対して、より積極的に取り組み、多くの国民の皆様から我々産業への正しい認知と信頼を受けるべく、ホール5団体が貴協会を中心に強い絆で結ばれた活動を押し進めていただくことをお願い申し上げますと共に、弊協会もホール5団体の一員として、更なる努力と研鑽を積んで、新しい年を貴協会と一緒に活動してまいります。

貴協会の益々のご繁栄と貴協会会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。新年も何卒宜しくご指導、ご支援の程をお願い申し上げます。

一般社団法人余暇環境整備推進協議会  
代表理事 宮脇 磊介



## 健全化のため業法制定へ前向きに

明けましておめでとうございます。

皆様には、益々ご健勝にて新しい年をお迎えになられましたことと心からお慶び申し上げますとともに、昨年中に当協議会に賜りましたご指導ご支援に対しまして、厚くお礼を申し上げる次第でございます。世界の政治経済を揺るがす新しい不安情勢が次々と発生しております。10月下旬に起こったタイの大洪水では、我が業界でも部品の供給不足に陥ったことが記憶に新しいところです。

日本国内に目を転じますと、東日本大震災の復興は遅々として進まず、未来への明るい兆しが見えない現状です。また大震災後には猛烈なパチンコパッシングを受けましたが、その対応としてホール業界全体で一致結束して節電対策を行い、ほぼ全ての店舗が輪番休業を遵守する成果を見せました。業界全体で50億円以上の義捐金の拠出し、団体や企業を通じての様々な支援活動が続けられ、誇るべきものであります。

我が業界は不要不急の産業と言われたりしますが、今回の震災を通じて、国民生活に潤いを与え、癒しを与えるパチンコの存在が、特に被災地の方々の生きる希望になったことなど、その積極的意義が見直された一面があります。2万人に近い尊い命を奪った震災に対して深く考え行動している業界であることへの社会的共感が、今後の業界の発展を導くものと信じております。

当協議会は、平成11年4月に「業界の環境を整備し、業法の制定を図る」をキャッチフレーズに掲げて発足しました。わが国固有の文化であり、生活に密着した娯楽であるパチンコを維持発展させていくためには、今こそ、監督官庁並びに業界の皆様と堅く連携を取りながら、業界健全化のための業法制定に向けて前向きに取り組んでいく必要があると考えます。

年頭にあたり、皆様からのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げますとともに、益々のご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新しい年を迎え

一般社団法人電子認証システム協議会  
代表理事 下口 二郎



## ホール環境の充実と憩いの空間へ

明けましておめでとうございます。

昨年3月11日の東日本大震災から10か月が経過し、被災されたホール様も建物の復旧から営業再開へ時間の経過とともに立ち直ってまいりました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。昨年の3月から6月までの設備関係はメーカーへの部材の供給が厳しい状況で低迷してまいりましたが7月以降回復されつつあります。しかしながら、今回の未曾有の大震災で得た教訓を活かしながら今後よりよい業界にと努力してまいらなければと考えております。

パチスロ機の人気も高まり年末より増台が相次ぎファンも増えて参りました。また、個別計数機付ユニットの普及が20%を超え、ホール様の玉積みに関しての拘りが取り除かれファンの評価も高く、労働改善が進み不安材料もなくなりつつあります。今年もかなりの導入が進むと考えられ、個別計数機は1台管理の為セキュリティも高まり今後メダル関係にも導入が進んでいくと思います。

今年はお客様に快適にパチンコ遊技を楽しんで頂く為にも、我々はホール環境、消音、空気清浄化、労働改善等に重点的に取り組んで参りますが、消費税も課題の一つで認証協のiクリアシステムは将来予見される消費税改定にそなえ速やかに対応できる設備となっております。導入店舗が1000店舗に近づき、低ランニングコストが評価されております。

被災地でホール再開を喜ばれたという声を多くの方から頂いたという話も聞きました。いずれにしても大衆娯楽として業界全体が一丸となって社会とのコミュニケーションと社会の貢献に努力を続けていかなければならないと考えております。

社会情勢にも大きな課題が多く、円高対策、TPPの加盟、税制改革、原子力発電問題、被災地の復興等問題が山積しておりますが、認証協加盟会社一同、力を合わせて今後とも、業界に大きく貢献出来る様取り組んでいく所存です。

一般社団法人プリペイドシステム協会  
理事長 小堀 豊



## 時代のニーズに応えたCUの提供

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ますますご健勝で、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、昨年中に当協会に賜りました温かいご支援とご協力に対し、心から厚くお礼申し上げます。

当協会が、「インのクリア」を通してパチンコ業界への貢献及び会員各社の相互理解と切磋琢磨を目的として設立され、8年目に入りました。この間、品質管理の礎となる統一の「貸出インターフェース規約確認書」に基づく(財)保安電子通信技術協会の試験に合格したCU(カードユニット、メダル等を含む)は290機種を超えるまでになりました。

当協会のCUは、ホールの皆様方がより安心してお使い頂けるよう、また品質保持のため、平成20年8月以降は、従来の検査項目にセキュリティ項目を追加した試験を経て、提供されています。

また、平成18年からは「インのクリア」の更なる普及のため、パチスロ機等への進出・普及にも努めているほか、最近の低玉貸に対応したCUや計数機能を備えたCUの開発等、業界のニーズに応えたCUの提供にも努めています。その結果、当協会加盟各社のCUは、平成23年10月の段階でパチンコ遊技機の約90%280万台弱、回胴式遊技機の約30%45万台強に使用されております。

更に、「パチンコ・パチスロ産業21世紀会」の一員として、業界振興に少しでも役立ちたいと協会挙げて努力しています。本年も業界団体の一員として、業界の各種活動に積極的に参加しつつ、お客様方や関係行政機関・諸団体等との意見交換を通じて、プリペイドシステムのあるべき方向を模索しながら、その実現に努めていく所存です。

年頭に当たり、皆様からのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いするとともに、皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。